

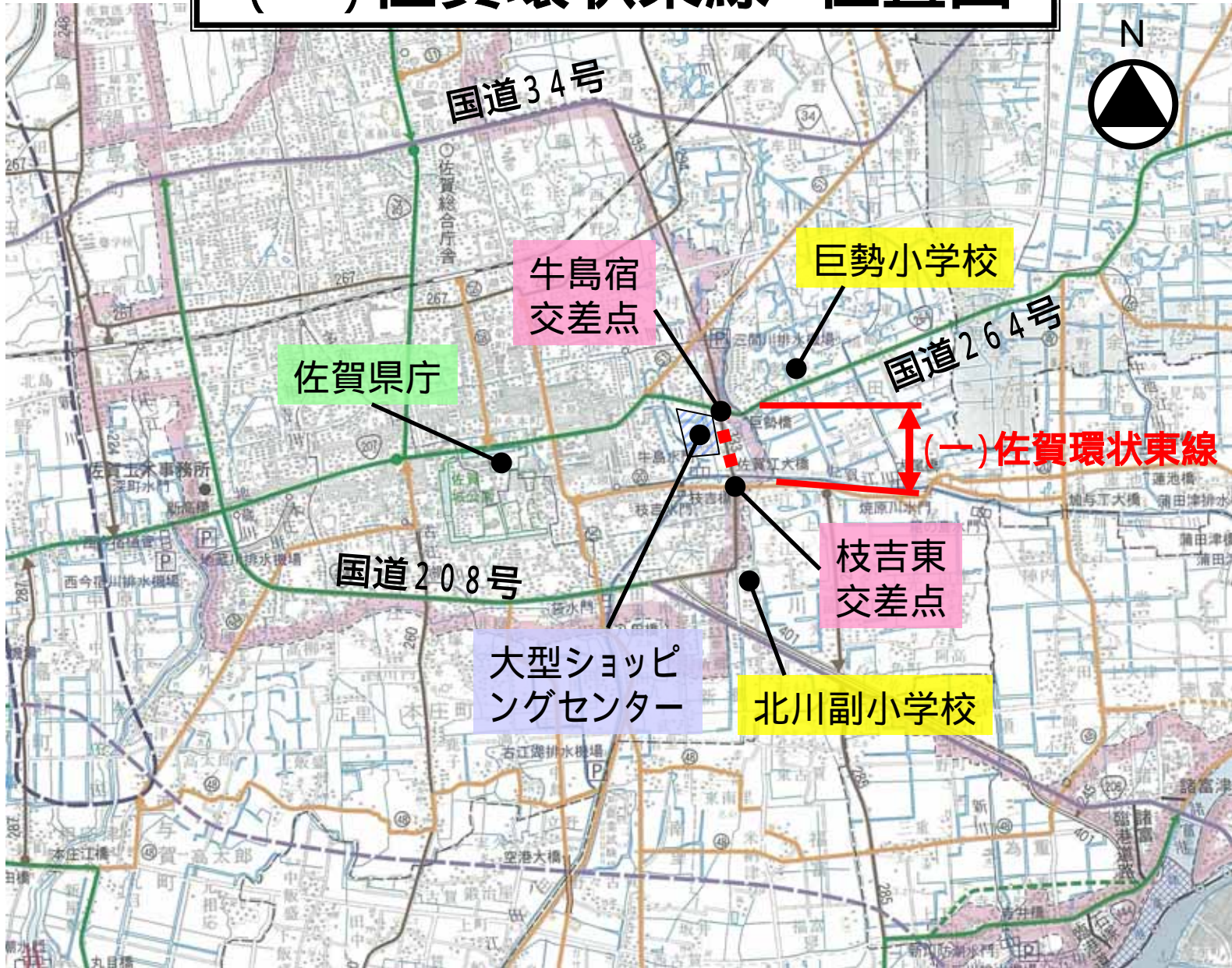
平成21年度 再評価委員会

路線名：一般県道 佐賀環状東線
(牛島工区)

事業名：地方道路交付金事業

(着手より10年経過のため再評価)

(一) 佐賀環状東線 位置図



至武雄

至鹿島

至久留米

至大川

事業目的

渋滞のため
車両交通に支障



歩道が狭く
通学者が危険



現道拡幅(4車化)整備により

交通の円滑化、通学者の安全性確保

事業概要

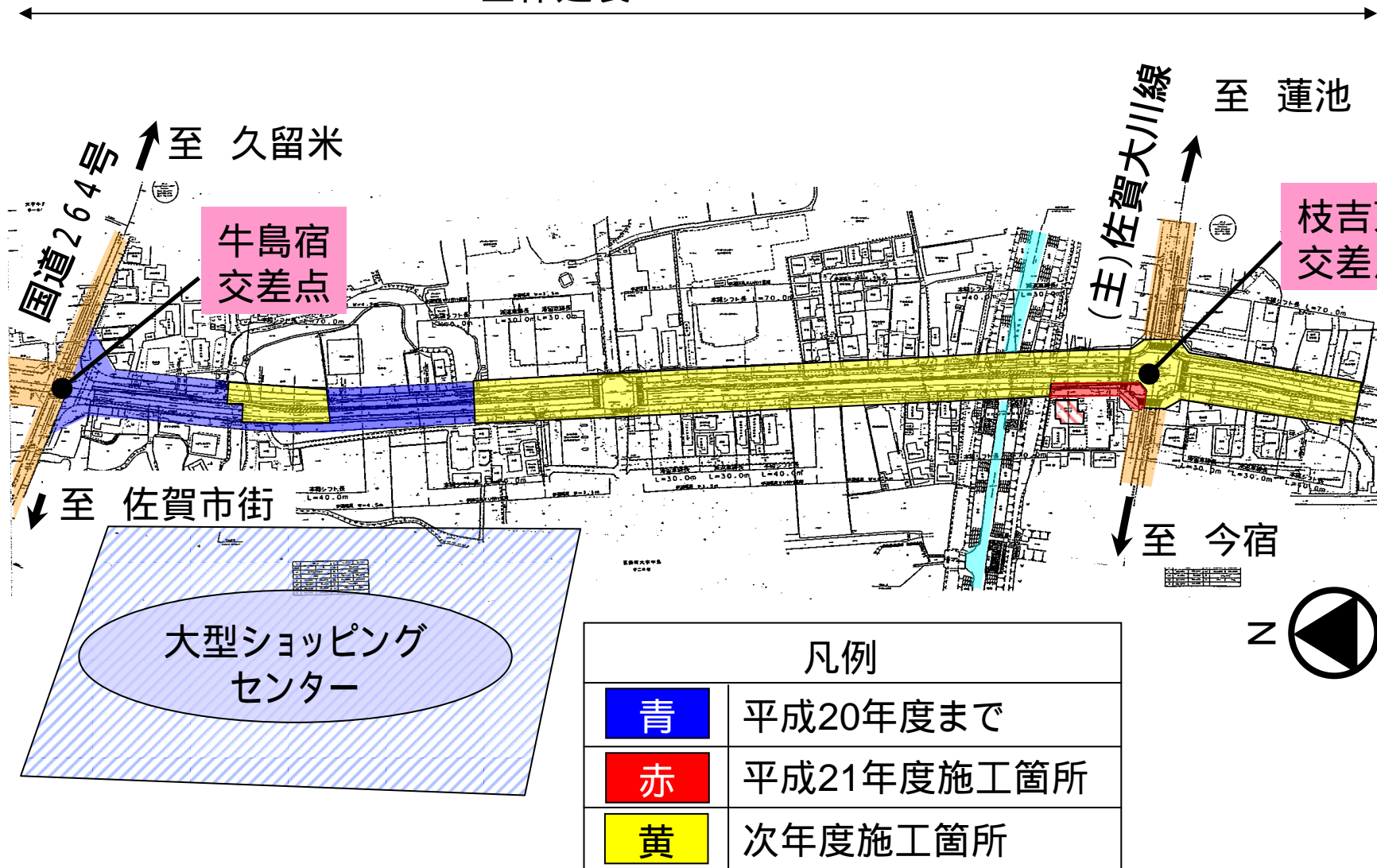
- 全体事業費：22.0億円
- 工期：平成12年度～平成25年度(予定)
- 全体延長：L = 760m
- 事業内容：改良工 L = 760m
用地買収 6,137m²、家屋補償 8戸

事業の進捗状況

	平成20年度まで	平成21年度	平成22年度以降
事業費(億円)	11.4	0.9	9.7
進捗率(%)	51.8	55.9	100.0
用地進捗率(%)	59.7	63.6	100.0

一般県道 佐賀環状東線 平面図

全体延長 L = 760 m



事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の増加

H 9 17,835台 / 日 (基準)

H11 20,758台 / 日 (1.16)

H17 19,529台 / 日 (1.09)

- 沿線に大型ショッピングセンターがあり、平成18年11月には二期オープンしたことから更なる交通量の増大が予想される。

費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比 (B / C)} = 71.3 / 23.3 = 3.1$$

- 【便益】

走行時間短縮便益	=	53.3億円
走行経費縮小便益	=	12.0億円
交通事故減少便益	=	6.0億円
合計		71.3億円

- 【費用】

事業費	=	23.1億円
維持管理費	=	0.2億円
合計		23.3億円

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。